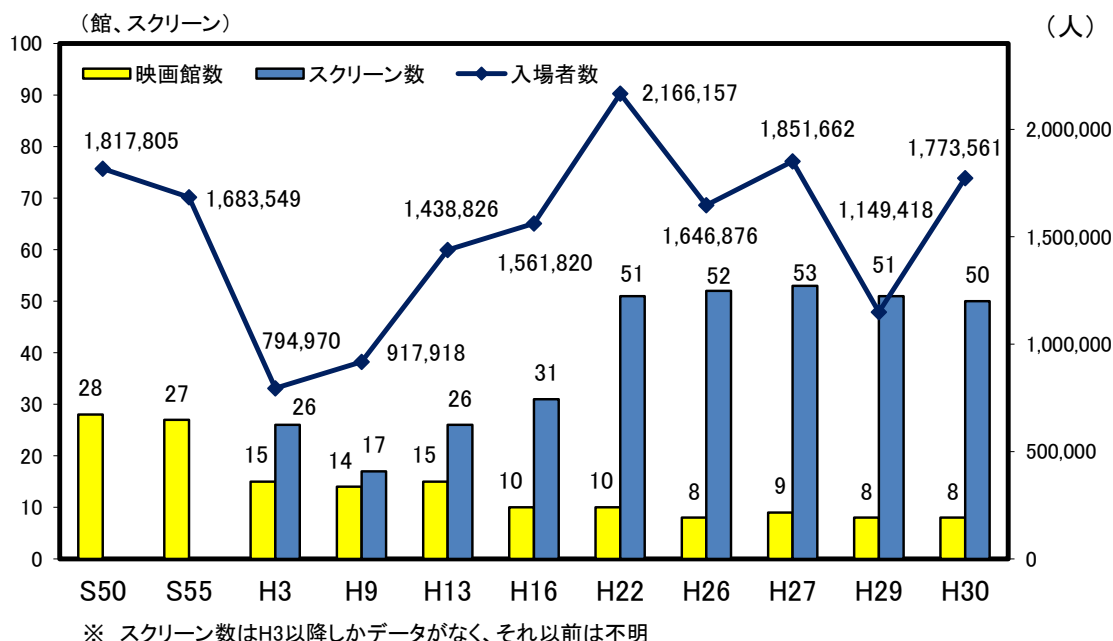


熊本県の映画館数、スクリーン数、入場者数の推移



解 説

【概要】

平成30年の熊本県の映画館数（事業所数）は8館、スクリーン数は50、座席数は8,939席、入場者数は1,773,561人だった。

十万人当たりスクリーン数は2.8、千人当たりの座席数は5.09でいずれも全国平均を上回っているが、県民一人当たりの年間入場回数は1.01回で、全国平均を下回っている。

映画館の数は調査の始まった昭和50年に28館だったのが平成30年には8館と約1/3になった。一方で入場者数は昭和50年の1,817,805人から平成3年には半分以下になったものの、その後は増加し、平成22年は2,166,157人となった。平成29年にはピーク時の平成22年と比べ約47%減少したものの、平成30年では再度増加となった。

スクリーン数は調査し始めた平成3年に26だったのが平成9年に一旦減少したものの、その後は増加し、平成30年は50と平成3年の約2倍となっており、近年の複数スクリーンを持つシネマコンプレックスの増加が窺える。

○映画館

アトラクションのあるなしにかかわらず商業的に映画の公開を行う事業所をいう。主として映画館の賃貸を行う事業所も含まれる。（映画館、映画劇場、野外映画劇場、映画館賃貸業、ミニ・シアター、ビデオ・シアターなど）

○1人当たりの年間入場回数

年間の入場者数÷推計人口（調査年の10月1日現在）または国勢調査人口

○映画館数、スクリーン数、座席数は当該年の7月1日現在の数値。（平成22年調査までは、11月1日現在の数値）

また年間の入場者数は、原則として当該年の前年の7月から当該年の6月までの1年間の数値。（平成22年調査までは、当該年の前年の11月から当該年の10月までの1年間の数値）

資料出所	調査期日	調査周期
「特定サービス産業実態調査」 経済産業省	平成30年7月1日	毎年